

# コロナ対策 緊急提言（ポイント）

## 「3週間の人流抑制でリバウンドからの脱却を」

立憲民主党

### 政府の対策

- ・不十分な取り組み
  - ・宣言解除基準の甘さ
- ⇒リバウンド繰り返す



### 第5波がもたらした危機的な状況

- ・一日当たりの陽性者数や重症者数が過去最多を更新
- ・医療提供体制がひっ迫し、自宅療養者は10万人超
- ・積極的疫学調査も遅延・滞留が相次ぐ

そこで立憲民主党は、コロナ対策を見直し、リバウンドを防ぐ具体策を提案  
⇒最も重要な保健所・医療機関の本来機能を回復させ、感染状況を改善させる。

### 立憲民主党の緊急提言 ～ 今後3週間で集中的に取り組むべき4項目

#### 1. 集中的な人流抑制等

##### ○追加の支援策を実施

- ・低所得世帯や収入が大幅に減収した世帯等に1人10万円給付
- ・低所得の子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円の特別給付金を再給付
- ・新たな持続化給付金の給付、家賃支援給付金の再給付 など

- 従来の解除基準において、さらに人流抑制策を実施 ⇒ 一層の新規感染者数減少へ
- 感染拡大地域について、昨年4月と同様に広範な事業者に休業等を要請

#### 2. 医療・保健所の本来機能の回復

- 臨時医療施設の設置を促進し、入院できていない中等症患者が入院できる環境を実現
- 宿泊療養と自宅療養の患者の容体悪化に即応する体制を整備
- 保健所の積極的疫学調査体制をさらに強化
- 濃厚接触者に迅速な検査と通知を実施

#### 3. 出入国管理の徹底

- 第三国経由の入国者への検査強化
- 入国者は宿泊施設で10日間隔離し、その間3回のPCR検査を実施

#### 4. 学校・子育てへの配慮

- 国がガイドラインを示しつつ、各教育委員会が休校・学級閉鎖等を判断
- 教職員への迅速なPCR検査とワクチン優先接種の体制構築
- 感染拡大地域では、必要な配慮をしつつ、生徒へのPCR検査を実施
- 休校や学級閉鎖を行う場合
  - ・進級、進学への不利益防止
  - ・オンライン授業等を行う際の環境の整備
  - ・保護者への学校等休業助成金・支援金の給付とテレワーク環境の整備
  - ・子どもの心や体調の変化などを早期に把握し対処できる体制の強化
- 学校や学童保育に通う場合
  - ・十分な衛生機材の確保など感染防止策の再徹底
  - ・分散学習等の実施に伴い学習指導員等を増員